

◆ 向陽高校が SSH 指定校に内定！

本年度、SSH 指定校に内定しました。向陽高校は理数教育に注力しながら国際社会で活躍できる人材の育成に努めてまいります。



◇ そもそも SSH (スーパーサイエンスハイスクール) って？

日本の将来を担う科学技術人材育成を目的に平成 14 年度より始められた事業で、高等学校における先進的な科学技術、理科・数学教育を通して、生徒の科学的能力及び技能並びに科学的思考力、判断力及び表現力を培うことを目的にしています。将来国際社会で活躍する科学技術人材等の育成を図るために、文部科学省をはじめとする各所からの指導助言、科学技術振興機構の支援協力や、大学・研究機関などとの連携を得て、先進的な理数教育による創造性豊かな人材育成を目指すものです。



◇ SSH 指定校になったら何が変わるの？



上記の通り、各所からの助言や予算面での支援、大学や民間の研究機関との連携などから、高校レベルを超えた研究に取り組んだり、学校独自の国際交流事業や理数系の課題研究を中心とした特別なカリキュラムが行えるなど他の高校には無い取り組みが行えるようになります。これにより探求的な学習を進めるための環境が充実します。また、研究成果等は他の学校や地域などに還元するため、学校における発表会だけでなく、8月に行われる全国SSH生徒研究発表会にも参加します。これには校内で代表に選ばれた生徒（個人やグループ）が参加し、ポスターセッションを行い、さらにその中で優秀であると認められれば、全体会で発表することになります。

◇ 2・3年生や国際文科・普通科の人には関係ないの？



SSH 事業の対象は平成 31 年度以降の入学生からになりますが、2・3年生や国際文科・普通科の生徒にとって決して関係ないわけではなく、上にあるように研究の環境が充実します。総合的な学習の時間に行われている色々な取り組みも探究活動の一環で、そこへのフィードバックもあります。高大連携により講演会や特別授業なども行われるので、すべての生徒にとってその恩恵は大いにあります。

さらに 2021 年度から行われる新大学入試では単なる知識を問われるのではなく、学んだことをどのように活用していくか、が重要になってきます。SSH 事業を通して本校で行われる各種の探究的活動が、この新しい入試制度にも対応できる資質を身につける良い機会となります。国際文科・普通科の生徒もこれら探究活動に積極的に参加してください。

SSH 研究推進部メンバー紹介

皆さんの探求活動を支えるため、以下のメンバーができる限りのサポートをして参ります。これからよろしくお願ひします。

- ◎城間 篤 (生物、SSH 研究推進部企画運営)
- ◎大城 英暉 (数学、SSH 研究推進部企画運営)
- ◎宮城 芳水 (外国語、国際交流担当)
- ◎渡邊 尚子 (地歴、総合的な探究担当)
- ◎相川 智子 (SSH 経理事務担当)